

令和5年度 ミニトマト(アンジェレ) 技術情報 No. 4

- 1 かん水の増量や遮光、換気など高温に負けない管理をしましょう。
- 2 収穫終了予定日から逆算して、主枝摘心を実施しましょう。
- 3 葉かび病やオオタバコガに注意しましょう。



1 栽培管理

(1) かん水

夏の高湿期は吸水量が増えるため、最大量（**2本仕立てで1日に株あたり4L程度**）まで増やします。9月以降は、少しずつ減らし、2～3L/株を目安とします。

(2) 追肥

栽培後半の追肥は、果実の品質低下、土壌の塩類集積の原因になるため、**収穫終了予定日の2か月前を目安に終了**してください。

(3) 温度管理

30℃以上の高温は着果不良や着色不良、軟化玉など生理障害の原因になります。遮光率**20～30%程度の遮光資材の設置**と換気でハウス内の温度を下げましょう。

(4) 誘引

斜め誘引では、生長点が横ばい～下向きになると草勢が低下しやすいため、**上向き**になるように結束します。

(5) 摘花（果）作業

花茎の本数は**2本程度**に揃え、**1花房あたり20果**を目安にします。草勢が弱っている株では、花茎を1本にすると、株の負担が減り、果実品質と草勢が安定します。

(6) 摘葉

8月は、高温対策のために葉を多めに残し、**収穫を開始した花房より下に葉を5枚程度残す**ように摘葉します。

(7) 主枝摘心

収穫終了予定日から2か月前（最終花房の開花期）を目安に、**開花直前の花房の上の葉2枚を残し**、一斉に主枝摘心しましょう。

例) 10月下旬まで収穫→8月下旬に摘心

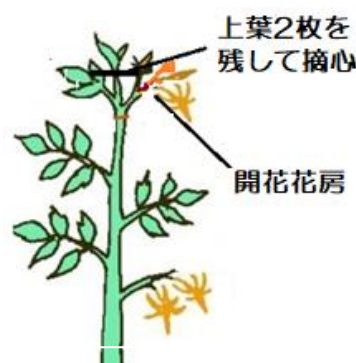


図1 主枝摘心の方法

2 病害虫防除

- (1) 管内では**葉かび病**、**斑点病**、**タバコガ類**の発生が見られています。
- (2) 防除暦を参考に**定期防除**や**特別散布**を行いましょ。農薬を使用する際はラベル表示を確認し、使用基準を遵守してください。
- (3) 防除の際は**葉裏**、**下葉まで十分な量の薬液がかかるように丁寧に散布**します。
- (4) **萎ちょう病などの土壌病害の拡大防止**のために、他の生産者ほ場を訪問する場合には**靴カバーを着用**しましょ。

病害虫名	5			6			7			8			9			10		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
葉かび病																		
オオタバコガ																		

□:発生時期 ■:重点防除時期

図2 発生時期の目安（雨よけ栽培の例）



図3 病斑の様子
(上：葉かび病、下：斑点病)



図4 オオタバコガの幼虫
(上：若齢、下：老齢)



図5 萎ちょう病で
枯れ上がった株

★いわてアグリベンチャーネット URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動**

農薬を安全かつ適切に使用するために、農薬ラベルでの使用基準の確認、使用履歴の記帳を徹底しましょ。